

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日7月1日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、7月8日（火曜日）からです。

『日本人の9割は正しい自己紹介を知らない』

山中 俊之／著、祥伝社／刊、請求記号：336.4/Y,34

内容：世界標準のコミュニケーションのプロトコルを身につけることで、大きくキャリアが展開する。世界標準のコミュニケーションにおけるプロトコルを中心に説明するほか、日本人の特性を生かして世界でPRするコツも紹介する。

著者紹介：1968年兵庫県生まれ。東京大学卒業。外務省などを経て、株式会社グローバルダイナミクス代表取締役社長。著書に「公務員の人材流動化がこの国を劇的に変える」など。

『コクヨ式机まわりの「整え方」』

齋藤 敦子／著、KADOKAWA／刊、請求記号：336.5/Sa,25

内容：文具や書類の扱い方から、ホワイトボードや会議室の活用法まで、オフィス家具・文具メーカーのコクヨが、長年の調査・研究によってたどりついた、机を「生産性の高い場」「創造性に満ちた場」にするための方法を紹介します。

著者紹介：新潟県生まれ。多摩美術大学立体デザイン科卒業。コクヨ株式会社の働き方とワークプレイスの研究機関「WORKSIGHT LAB.」所長。

『昭和育ちのおいしい記憶』

阿古 真理／著、筑摩書房／刊、請求記号：596/A,38

内容：縁側で食べたすいか、西宮商店街の回転焼き、北京のおかゆ、丹波篠山の牡丹鍋…。1968年生まれの著者がこれまで食べてきたものを語る、極私的な食い意地エッセイ。ここ40年間の食の変化も明らかにする一冊。

著者紹介：1968年兵庫県生まれ。神戸女学院大学文学部卒業。広告制作会社を経てフリーに。ノンフィクションの仕事に取り組む。著書に「うちのご飯の60年」「ルポ「まる子世代」」など。

『レトロな印刷物が家族の博物紙』

高橋 善丸／著、光村推古書院／刊、請求記号：727/Ta,33

内容：広告マッチ、酒類、缶詰、調味料、化粧品、清涼飲料、着替・ぬりえなど、明治時代後期から昭和時代中期までの印刷物を収集。父親・母親・男の子・女の子・祖父の家族構成による章立てで、印刷物から時代と文化を検証する。

著者紹介：グラフィックデザイナー。大阪芸術大学教授。株式会社広告丸主宰。売薬美術研究

家としてもコレクション及びその研究をしている。著書に「くすりとはほえむ元気の素」など。

『しゃれことば事典』

相羽 秋夫／著、東方出版／刊、請求記号：813.4/A,22

内容：赤児の行水、腐っても鯛、夏の火鉢、見越しの松…。粋心と艶笑あふれる言葉遊び、知恵をかくした比喻・ことわざ、歴史、風俗、地理をふまえたフレーズなど、各地に点在する「しゃれことば」約1000語を収録。

著者紹介：1941年名古屋市生まれ。同志社大学法学部卒。松竹芸能勤務を経て、放送作家、演芸評論家。元大阪芸術大学教授(芸術計画学科長)。大阪府知事表彰、大阪市民表彰。著書に「落語入門」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp